

採択結果

申請件数	採択件数	採択率	採択金額
69	30	43.5%	50,000,000 円

採択プログラム一覧

研究代表者 (50音順)	所属		研究課題
赤石(河角)直美	衣笠総合研究機構	P D	土地台帳を用いた近代の津波による被災地の復原と災害復旧に関する研究
石川 伊吹	政策科学部	准教授	震災復興における企業家の「役割」と「需給コーディネーション能力」に関する実証研究
伊津野 和行	理工学部	教授	地域の交通を支える橋の津波による流出防止対策に関する研究
大垣 尚司	金融・法・税務研究センター、法学研究科	教授 センター長	災害復興のための金融・法技術・税務に関する研究
岡本 享久	理工学部	教授	ねじりを含む組み合わせ断面力を受ける RC 部材の耐震機構と合理的な補修・設計の提案
小川 均	情報理工学部	教授	災害時対応情報収集および多目的支援 ICT カー
鐘ヶ江 秀彦	政策科学部	教授	平時のリスク認知を通じた緊急時のリスク緩和のためのコミュニティ防災の高度化に関する研究
神子 直之	理工学部	教授	被災後の安全かつ快適な生活環境確保を目的とした衛生環境実態調査
河角 龍典	文学部 京都学プログラム	准教授	津波災害およびその復旧・復興過程に関する災害考古学的研究
佐藤 圭輔	理工学部	講師	長期再起確率を考慮した高潮および津波によるアジア太平洋沿岸域の脆弱性評価～東日本大震災による沿岸水害の実態解明と低地が広がる島嶼国の将来リスク
周 瑋生	政策科学部	教授	複合型災害の救援・復興のための「政策特区」構想と未来型エネルギー最適化システムのエコデザイン
高木 正朗	産業社会学部	教授	被災デジタルデータ復旧と歴史資料解読データベース構築の支援プロジェクト
高橋 伸彰	国際関係学部	教授	東日本大震災後の日本経済の課題と展望― 成長から適応へ ―
谷口 仁士	グローバルイノベーション研究機構	教授	災害復興計画の実施に伴う経済的被害軽減シミュレーション
土屋 貴裕	理工学部	助教	多次元における離散確率解析とその応用
中島 淳	理工学研究科	教授	岩手県宮古市を対象とする生活域と産業域における浸水被害からの復興と創造的地域づくりの研究
中谷 友樹	文学部・歴史都市防災研究センター	准教授	GIS を用いた文化財保護の意思決定を支援するデータベースの構築と活用に関する研究
仲谷 善雄	情報理工学部	教授	思い出の品を失った被災者の思い出想起支援
西浦 敬信	情報理工学部	准教授	避難所における音環境の快音化
野田 正人	産業社会学部	教授	教育と福祉との連携に基づく子どものトラウマケアのあり方
平岡 和久	政策科学部	教授	地域分散型震災被災者支援システムの構築に関する研究
深川 良一	理工学部	教授	東北地方太平洋沖地震による青葉城跡城壁崩落に関する地盤調査および崩壊メカニズムの解明

福田 青郎	生命科学部	助教	放射性物資・ヘドロ等 環境汚染物資の微生物による除去
藤巻 正己	文学部	教授	被災地のまちづくりに観光が果たす役割とダーク・ツーリズムに関する研究 — 宮城県石巻市を事例として —
宮本 十至子	経済学部	教授	大震災と税制・財政の諸問題に関する研究
森 裕之	政策科学部	教授	震災による倒壊建築物・瓦礫等によるアスベスト災害防止の政策研究
森崎 久雄	生命科学部	教授	様々な品種のイネ種子エンドファイト及び津波による塩害がイネ種子エンドファイトに及ぼす影響
矢野 桂司	文学部	教授	Geo Design を用いた津波被災地域における復興計画の策定のためのフレームワークの構築
矢野 健一	文学部	教授	水中ロボットを利用した滋賀県葛籠尾崎湖底遺跡地震成因説の検証
吉岡 修哉	理工学部	准教授	機動配置型のマイクロバブル式小型水処理装置による緊急水処理支援システムの研究